



ともに

学びになる

いるだけで

これからの協働センターはどうあるべきか、その可能性を考える

## お申し込み

開催日前日までに、  
こちらのウェブフォームまたは  
電話、メールでお申し込みください。



## お問い合わせ

認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ  
(担当：石山、内田、ササキ)

電話番号

053-451-1355

E-mail

lets-arsnova@nifty.com

## アクセス

### 公共交通機関をご利用の場合

- ◆JR 浜松駅より徒歩 10 分
- ◆遠州鉄道「遠州病院駅」東隣
- ◆遠州鉄道バス、「県総合庁舎」、「常盤町」バス停下車

### お車でのお越しの場合

クリエイート浜松には専用駐車場がございません。  
OGURIパーキングⅠ・OGURIパーキングⅡに駐車されたクリエイートご利用の方には割引サービスを提供しております。お帰りの際に1階事務室まで駐車券をお持ちください。



日時

2024年

2月5日

月曜日

13:00 ~ 17:30

途中休憩あり

対象

- ・社会教育関係者  
(協働センター従事者/社会教育主事/  
ボランティア/市民団体)
- ・福祉関係者  
(障害者相談機関従事者/地域包括センター/  
地区社協/CSW/福祉職員)
- ・学校関係者  
(教員/スクールソーシャルワーカー/  
コミュニティスクール担当者)
- ・その他  
どなたでも

定員

300名

場所

クリエイート浜松  
2階ホール  
1階ふれあい広場



主催

認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツ、  
文部科学省

後援 浜松市



# ともにいるだけで学びになる

これからの協働センターはどうあるべきか、その可能性を考える

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツは2000年の設立より共生社会の実現を目指して活動しています。2010年からは重度知的障害者等の通所施設を運営、2018年からは浜松市中心市街地において、障害者施設とシェアハウス・ゲストハウスが併設された「たけし文化センター連尺町」、2022年からは誰もが来ることができる私設私営の公民館「ちまた公民館」を運営しています。その他、重度知的障害者と寝食を共にする観光ツアーや学校との連携事業など、障害のある人と様々な属性の人々が同じ空間で同じ時間を共有することによって、双方向の学びが実現する事業を行っています。

少子高齢化、核家族化の中で地域コミュニティの必要性が叫ばれています。そうした中で障害者や様々な困難をかかえている人々など、社会から周縁化されがちな人々を含めてどのようにコミュニティを作り上げていくかは現代社会の大きな課題です。浜松市には、地域に一つは「協働センター」があります。様々な人が通いやすい協働センターは、これからの地域コミュニティの核としての役割が期待されており、重い障害のある人も含めた多種多様な人々の交流拠点です。

当カンファレンスではさまざまな立場の人たちがともにいる、ととも学ぶといった視点で、協働センターのこれからを考えてみたいと思います。そして、会場には当法人が運営する障害者施設アルス・ノヴァの皆さんも参加します。また、1階のふれあい広場には、「出張たけし文化センター連尺町」×「出張ちまた公民館」がやってきます。本事業を通して、多様な人がともに生きる社会に向けて、今何が必要か、何ができるかを一緒に考えていきましょう。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



## 登壇・シンポジスト紹介

### 井口啓太郎

東京都出身。大学で社会教育主事任用資格を取得後、世田谷区、足立区、国立市で社会教育行政・施設の業務に従事。2009年度より国立市公民館にて、障害や困難の有無にかかわらず若者が共に学びあう実践「コーヒーハウス」に関わる。文部科学省令和5年度「障害者の生涯学習推進アドバイザー」

### 久保田翠

東京藝術大学大学院美術研究科修了後、環境デザインの仕事に従事。重度知的障害のある長男の出産をきっかけに、2000年にクリエイティブサポートレッツ設立。2010年障害福祉サービス事業所アルス・ノヴァ開設。2016年『表現未満、』プロジェクトスタート。2018年たけし文化センター連尺町建設、2022年浜松ちまた公民館開所。2017年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。2022年度静岡県文化奨励賞受賞。

### 佐藤拓男

1995年浜松市役所入庁。上下水道・教育・道路管理・福祉行政に従事。2018年4月より北部協働センター所長。北部協働センターのキャッチフレーズは「Connecting People!〜笑顔でつなぐ地域の輪〜」。地域・学校・行政が一体となり、地域の中学生が企画・運営する「北部ジュニア公民館」は23年続いており、異世代交流、地域ボランティア・健全育成の場、そして中学生の居場所づくりにもなっている。

### 鈴木光昭

1992年浜松市社会福祉協議会に入職。長年ボランティアセンター事業を担当しボランティア活動振興・福祉教育事業等に携わる。現在は個別支援・地域支援・仕組みづくりを役割とするコミュニティソーシャルワーカー（CSW）南部エリア（中区・東区・南区）の地域リーダーとして従事する。

### 野嶋京登

地域住民とともに浜松版パーラー公民館「あおぞら協働センター」を開催し、幅広い世代間交流の提供や顔の見える関係づくりの一翼を担っている。若者の地域づくりへの参画は、地域活性化のため重要と考え、若者ボランティア「コミュニティ・アシスタント」制度を確立し、イベントの協力や「アオハル音楽祭」などを行った。「地方公務員アワード2023」受賞。

### 松下恵介

2000年浜松市役所入庁。土木部、企画部、横浜市役所出向、産業部を経て2016年から市民部。市町村合併・政令指定都市移行時には、新たな市の総合計画策定や政策・事業評価の仕組みづくりに関与。その後、市制100周年記念事業、創造都市推進、中小企業支援などを経験。市民部では区政推進の制度所管課として、行政区再編の推進、コミュニティ振興、区役所や協働センターの制度管理に携わる。

### 宮城潤

1972年沖縄生まれ（復帰っ子）。2001年NPO法人前島アートセンター設立に参画、初代理事長。2006年からは那覇市若狭公民館勤務。運営体制移行により四度の職名変更を経て現在は指定管理者として館長を務める。文部科学省「第70回優良公民館表彰」で最優秀館に選ばれたほか、全国公民館連合会が主催する各コンクールにおいて、最高賞7回を含む12回の上位入賞を果たす。

## 1階 ふれあい広場

13:00～14:00 見学会

出張たけし文化センター連尺町  
+ちまた公民館

中区紺屋町で2022年から始まった「ちまた公民館」。障害の有無や年齢・所属に関わらず、誰でも使える居場所です。たけし文化センターからは重度知的障害のあるメンバーたちがふれあい広場に出張し、いつもの日常を繰り広げます。



## 2階 ホール

14:00～14:15 開会挨拶 浜松市長挨拶、文部科学省挨拶

14:15～15:45 事例・話題提供 ①「ともにいるだけで学びになる」実践事例

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ

### ② 地域をつなぐ協働センター

協働センターとはなにか	松下恵介	浜松市役所市民部市民協働・地域政策課
浜松市内の協働センター実践1	佐藤拓男	浜松市北部協働センター
浜松市内の協働センター実践2	野嶋京登	浜松市富塚協働センター

③ 社会福祉の実践から  
～福祉を取り巻く仕組みや制度～ 鈴木光昭 浜松市社会福祉協議会 浜松地区センター

15:45～16:00 休憩

16:00～16:20 キートーク 「多様な人を包括する公民館」  
宮城潤 那覇市若狭公民館

16:20～17:30 シンポジウム

「ともにいるだけで学びになる  
～これからの協働センターはどうあるべきか、その可能性を考える」

登壇	井口啓太郎 国立市公民館 館長補佐 / 社会教育主事	松下恵介 浜松市役所 市民部 市民協働・地域政策課 課長補佐
	宮城潤 那覇市若狭公民館 館長	佐藤拓男 浜松市北部協働センター 所長
	鈴木光昭 浜松市社会福祉協議会 浜松地区センター副地区センター長、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）南部エリア地域リーダー	野嶋京登 浜松市富塚協働センター コミュニティ担当職員（主任）
		久保田翠 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事

ファシリテーター ササキユイチ 認定NPO法人クリエイティブサポートレッツスタッフ